

令和5年度 星ヶ丘二葉園 職員自己評価結果表

二葉園では、子どもの最善の利益を考え保育・教育を行っておりますが、職員一人一人自分の保育を振り返り人権への配慮・発達の援助を含め「保育の質」を高めていけるよう自己評価を行いました。

令和6年4月20日
星ヶ丘二葉園
園長 内田紀子

	内容	十分わかる 十分できている	概ねわかる 概ねできている	あまりわからない やや不十分
養護	登園時に泣く子どもに対し抱いたり優しく声をかけていますか	100		
	子どもに分かりやすい言葉使いで穏やかに話をしていますか	71	29	
	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育を行っていますか	75	21	4
健康	戸外や室内等で、子どもがのびのびと身体を動かせるよう時間、遊びを確保していますか	67	33	
	0～5歳児までの連続性を意識した園の運動カリキュラムを使い、年齢に応じた運動遊びが経験出来る様になっていますか	42	54	4
	食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、身の回りの清潔などは、子ども一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で子どもが自分でしようとする気持ちを尊重して対応していますか	75	25	
	おもらしをした時等に、その都度優しく対応し、傷つけないように配慮していますか	96		4
環境	身近な自然事象に触れ「どうして」や「なぜ」といった疑問に対して、子どもと興味・関心を共有していますか	83	17	
	子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びが出来る様にしていますか	54	42	4
	設定保育だけでなく、子どもが自由に遊べる時間が確保されていますか	67	33	

	内容	十分わかる 十分できている	概ねわかる 概ねできている	あまりわからない やや不十分
言語	正しい言葉使いや、声の大きさに配慮して子どもたちに話しかけていますか	58	38	4
	子どもがして欲しい事を話すとき最後までゆっくりと聞くように心がけていますか	79	21	
	子どもの発達過程や興味関心に合わせた絵本や物語を選定していますか	71	29	
表現	水・砂・土・紙・粘土などの様々な素材に触れて楽しむ機会を取り入れてますか	63	38	
	道具の正しい使い方を一人一人丁寧に教えたり見守ったりしていますか	79	21	
	0～5歳児までの連続性を意識した園の音楽カリキュラムを使い、年齢に応じたリズム遊びや楽器に親しむようにしていますか	33	63	4
人間関係	保育者や友だちと一緒に園生活を楽しみ積極的に行動出来るように援助していますか	83	17	
	思い通りにならない時など、子どもの気持ちを受け止めるようにしていますか	75	25	
	自分の気持ちを相手に伝える事の大切さについて丁寧に伝えていますか	63	38	
	異年齢の子どもとの交流が行われていますか	54	46	

	内 容	十分わかる 十分できている	概ねわかる 概ねできている	あまりわからない やや不十分
食事	ゆったりとした雰囲気の中で食べる喜びや、楽しさを感じられる様に工夫していますか	67	33	
	食べ物を残したり、偏食したりするとき、過度にしかる事が無いよう心がけていますか	75	25	
	子どもの体調に応じて食事の量を調節する等の配慮をしていますか	96	4	
環境・衛生・安全管理	室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか	50	46	4
	感染症に関する知識を習得し、流行時期や疾患状態を把握していますか	33	67	
	子ども一人一人の発育及び発達の状態をよく把握した上で常に体の状態を細かく把握していますか	54	46	
	災害時について日頃から子どもたちに丁寧に話をするように心がけていますか	54	42	4
	不審者について園内。園外での対応を考え、問題を職員間で共有していますか	46	54	
保護者支援	保護者から相談内容などを、自分一人の問題にせず必ず園長に報告していますか	63	29	8
	自分の保育の意図を保護者に伝えるようにしていますか	42	38	21
	子どもの体調が良くない時等、保護者に連絡をする際には、内容が的確に伝えることを意識していますか	67	33	

	内 容	十分わかる 十分できている	概ねわかる 概ねできている	あまりわからない やや不十分
その他	子どもの体調不良やけがなどの情報を職員間で共有していますか	83	17	
	子どもの最善の利益を尊重した保育を心がけていますか	63	33	4
	個人情報の管理を適切に行っていますか	88	13	

養護・食事・衛生安全管理

子どもたちの生命の保持に関する項目では、「できている・概ねできている」が多く、子どもたちが安心して過ごせるよう配慮し保育・教育をしているという結果だと思いました。

昨年度も地震などの自然災害や、交通事故また、様々な事件等がたくさんあり、子どもたちを取り巻く環境が厳しくなってきていると感じます。不慮の事故や災害に巻き込まれないように、交通安全教室・防犯教室・避難訓練・防犯訓練などを計画的に行っています。職員も外部の専門家をお願いして定期的に、災害や防犯の研修を行っております。

保護者支援・その他

保護者の皆様からの質問等、お答えできるようにと思っておりますが、即答できないものに関しては、園長・副園長・主幹に報告し、できるだけ速く回答をするように心がけております。また、ケガや、体調が悪くなった時なども必ず園長・副園長に報告をして園内で共有するようにしています。

保護者の皆様への保育の発信としては、懇談会やホワイトボード、乳児クラスは、連絡帳などで様子がお伝えできているのではないかと考えております。また、行事や保育の写真掲示や、クラスだより等でもご覧いただけていると思います。令和6年度は、個人面談も行いより保護者の皆様とコミュニケーションが取れるのではと楽しみにしております。

健康・人間関係・環境・ことば・表現

子どもたちが、すこやかに成長できる様「5つの領域」に分けて考え保育・教育を行っています。この項目では、「できている・概ねできている」が多く、今年度の振り返りをしっかりと行い、これからも、子どもの成長に合わせた保育・教育を行って行きたいと思っております。

今回の結果を基に、専門職としての知識・意識を高める事の大切さや、保護者の皆様と共に子どもたちの成長を見守り育てていく事を職員一同で共有し、より良い二葉園を目指して行きたいと思っております。